2025 年 9 月 29 日

12 年間で当院に救急搬送された用水路転落外傷患者の傾向と重症化リスクについての観察研究

◆研究の目的と概要◆

当院では救命救急センターに救急搬送された用水路転落外傷について症例数、受傷部位、予後などを調べています。本研究では用水路転落外傷の症例数や重症度の明確化により、その社会的影響を明らかにすることを目指し、また用水路転落外傷の重症化因子を知ることで今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013 年 1 月から、2024 年 12 月までの間に用水路転落に伴う外傷で当院救命救急センターに救急搬送された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、年齢、受傷機転、損傷部位、外来での転帰、入院日数、ICU 入室日数、入院後の転帰

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 1 月 1 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録からの情報を利用します。

＊　研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合せ先】
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
救急科　研究責任者　市川元啓
E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明